

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		STARS		公表日		令和8年2月16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	国の基準である児童一人当たり2.47㎡を上回る3.3㎡で、死角のない目の届く環境を整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	基準では、児童10人に対して専従児童指導員1人+常勤換算で1人の児童指導員であるのに対して、常勤専従児童指導員2人+常勤換算で2人以上の児童指導員を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	肢体不自由な児童は在籍していないが、バリアフリーでフロアに段差はない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	支援会議や研修等で全員が参画している。毎日のミーティングで支援については細かく話し合い、課題の改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	毎年、保護者及び従業者からの評価を受け、意向や問題点を把握し、全体会議を実施して業務の改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		月1回のミーティングがあるので、何かあれば話し合えていると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	第三者評価が不明でわからない。 第三者委員 菅原労務経営管理事務所 特定社会保険労務士 菅原 芳裕		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	半年に1回支援会議を実施し、モニタリングを行い、児童の課題や悩みが改善できるように検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	職員全員が支援計画、支援内容が確認し易いように環境を整えていて、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	本人支援はもちろん、レスパイトケアの観点から家族支援を取り入れている。 発達状況や障害特性に応じた地域支援や地域連携、及び移行支援も組み入れている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	80%	20%	物理的に送迎後に職員全員が揃うことは困難な為、翌日のミーティングで振り返り等を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	90%	10%	活動に於いて自己選択できるように支援を行い、自己選択が出来ない児童に対しては、2～3種の中から選択をしてもらい、自己決定力が養われるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	協力医療機関 上青木中央医院	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		お互い情報共有して、よりよい支援が出来る様に話し合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	90%	10%	保育園や児童発達支援事業所等と情報共有や相互理解は行っているが、一部幼稚園とは個人情報との事で、相互理解どころか情報共有も出来ていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	日々の業務に於いて児童発達支援センターと連携を図って助言や研修を受ける機会はない為、機会が設けられる様に自立協議会等で発信していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	自分が入ってからは無い。 たまに公園で会った子供たちと関わる（遊び）ことがある。 児童館など社会資源の環境が整っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	90%	10%	通知があった時は必ず参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	自分が入ってからはあまりないです。 発達状況や障害特性が個々に違う為、集団でペアトレ等を開催する事は困難だが、家族支援の相談や情報提供は常に行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	30%	70%	通信、ホームページなどで発信がここ最近はない。 HPのブログが9月から止まっている為、2～3か月に1回は更新した方が良いと思っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%	町会が移転した事、核家族のご家庭が多く日中の人口が少ない為、地域住民を招待等して行事を行うことが困難。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	90%	10%	現在、食物アレルギーのある児童の在籍はない。 医師からの指示書を受けたことはなく、保護者からの聞き取りで対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			